

日仏交流ハイブリッド・ワークショップ 参加アーティスト募集！

「公共空間でのアート」に特化した南仏トゥールーズの公共劇場「ユジーヌ」で活躍するアーティストたちとともに、「地域／内と外」という題材で国際ワークショップを行います。静岡に住む人々へのインタビューなどを通じ、場所が持つ力を見つめながら、日仏の多分野の参加者が互いにインスピレーションを与えつつ即興的な創作を積み重ねていき、最後に成果発表会を行います。2016年には「ユジーヌ」で続編が行われる予定で、そのメンバーは今回の参加者から選ばれます。

<ユジーヌ、公共空間におけるアートのための公的劇場>

L'Usine, Scène conventionnée pour les arts dans l'espace public

ストリートアーツを手がける複数のアーティスト集団の拠点。俳優、ミュージシャン、技術者などが集まり、自ら機械や小道具なども製作している。ロワイヤル・ド・リュクスやラ・マシーンと一緒に活動していたアーティストなどが、1980年代にトゥールーズ市内の廃工場（仏語でユジーヌ）を使って活動をはじめた。その後、郊外の旧木材加工場を借りていたが、2003年にトゥールーズ都市圏、ミディ＝ピレネー地方などの協力を得て、400人収容の上演スペースを持つ約3,500平米の公共劇場「ユジーヌ」が建造された。工場が建ち並ぶ「郊外」の町を文化の拠点にしていくことを使命にしている。2003年から館長をつとめるマチュー・メゾンヌーヴは、パリ第四大学（ソルボンヌ）で「公共空間における芸術」講座の教鞭も執る。

【実施期間】

2015年4月27日(月)、28日(火)、30日(木)、5月1日(金)
の10時～16時。

5月2日(土)16時30分～17時30分に成果発表会。
(詳細なスケジュールは追って発表いたします)

※要全日程参加

※仏語・日本語通訳あり

【実施場所】 舞台芸術公園ほか

【応募資格】

■年齢・国籍不問。日本語かフランス語を解する方。「公共空間でのパフォーマンス」に興味をお持ちのアーティストで、フランスのアーティストとの創作を通じた交流を希望する方。俳優、ダンサー、演出家、作家、舞台技術者、舞台美術家、ミュージシャン、映像作家、画家、造形作家、デジタルアーティスト等々、どんな分野でもかまいません。

■各分野での活動実績が5年以上ある方。

【募集定員】 12名

【参加費】 30,000円(税込)

※《ユース割引》30歳以下の方は、参加費半額といたします。

※会場までの交通費はご負担ください。

※期間中の会場近郊への宿泊をご希望の方は、実費負担にて手配いたします。

※参加者は4/29の『ふたりの女』を無料でご観劇いただけます。

<お申し込み・お問い合わせ>

SPAC- 静岡県舞台芸術センター 「ワークショップ参加募集係」宛

〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4

TEL. 054-203-5730 メールアドレス: apply@spac.or.jp

【応募方法】

下記の(1)～(3)を添付の上、郵送、Eメール、または持参にてお申し込みください。

(1) プロフィール

氏名(芸名・活動名)、現住所、電話番号、メールアドレス、生年月日、学歴、職歴。また、ご自身の出演(出展)経歴や作品情報などあればできるだけ詳しくお書きください。

※Eメールでご連絡する場合がありますので、確実に連絡のつくメールアドレスをご記入ください。

(2) 写真2点、上半身と全身がわかるもの

(3) 作文「私にとっての「内と外」」

(日本語200字以上400字以内、または仏語800字以内)

【応募締切】(郵送・Eメール・持参とも)3月17日(火)<必着>

※応募者多数の場合には書類選考をいたします。

(3月末日までにご参加の可否をご連絡いたします。)

※応募資料は返却いたしませんのでご了承ください。

なお、個人情報は静岡県舞台芸術センターが厳重に管理し、本企画に関するご連絡以外には使用いたしません。

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

芸術総監督 宮城聡

スパック = 静岡県舞台芸術センター